

## 今年度も小学生へ防災の授業を実施しました！

開催日：2023年12月1日

昨年11月に行った東長町小学校5年生の課外学習を今年度も実施いたしました。仙台長町未来共創センターに訪れたのは昨年と同じく東長町小学校5年生合計120名です。全4クラスを2つに分け、前半は5年2組と3組、後半を1組と4組とし、それぞれ1時間15分ずつ、防災に関する授業と、仙台長町未来共創センター(以下長町FC)の施設の見学を行いました。



今年の5年生は2012年生まれ、東日本大震災を経験しておらず、災害に対するイメージが薄い世代です。まず授業では、東長町小学校のある太白区郡山で発生する災害やそれにより生じる問題について、児童自身で考え発表してもらいました。その後、東日本

大震災を中心とした写真を見せつつ、災害が起きたときの町の変化や自分たちの身の回りで起きる食糧不足、停電、トイレの問題などについて説明をしました。それに加え、災害時に起こりうる問題について長町FCがどのような対策をしているのか、(1)電気の備え、(2)水・食料・生活用品の備え、(3)トイレの備えと項目ごとにお話し、クラスごとの施設の見学へと移りました。

施設見学では、ほぼ紙トイレが大人気。中に入りたい人、という問いかけにはたくさんの手が上がり、児童全員が順番にほぼ紙トイレに入ったクラスもありました。児童からは「自分でも組み立ててみたい」「自分の家にも欲しい」といった感想も出ていました。その他、水や食べ物の備蓄については、今回お手伝いいただいた(株)丸和運輸機関のスタッフより、家庭での備蓄の重要性も踏まえ説明をいただきました。長町FCには備蓄食のレパトリーを数多くそろえているため、児童たちが見たことのない備蓄食も多く、吉野家やココ壱番屋など普段自分たちが食べている食品でも長期保存ができるものがあるのだと驚いた様子の児童も多くいました。

クラスでの見学を終えた児童は振り返りを行い、長町FCの見学の中で興味深かったこと、自分たちの家で備えたほうがよいと思ったことなどを発表してもらいました。「ラジオは使ったことがなかったけど情報を取るのに便利」「備蓄食は買って家で食べてみたい」など自分の今後の備えについて考えを深めてくれた児童も多く、児童の防災に対する意識の向上に繋げることができました。



児童の皆さんより感想のお手紙をいただきました！

### 児童からの主な質問・感想

- 賞味期限が近づいた備蓄品はどうする？
- ほぼ紙トイレのようなトイレの備えが家にもほしい。
- ソーラー街路灯で地域の人にも電気をあげられるのがいい。
- 車から電気を送れる設備がすごいと思った。

### 先生方からのフィードバック

- パワーポイントの資料がわかりやすかった。
- 見学も各組2人スタッフ体制で手厚く対応されておりよかった。
- かまどベンチのかまどを実際に見ることができるとよい。
- 児童からも多くの感想・気づきがあがりよかった。